

令和5年5月31日

第331号

〔発行〕(公社)神奈川県労務安全衛生協会藤沢支部
支部長 いすゞ自動車株式会社 藤沢工場
編集 藤沢支部広報部会
<http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/fujisawa/index.htm>

2023年度 通常支部総会開催される

2023年5月9日(火) 於：藤沢商工会議所ミナパーク6階多目的ホール



(公社)神奈川県労務安全衛生協会藤沢支部の通常支部総会は50社出席の下、182社の委任状を合わせ、支部規約第20条、総会員数の2分の1以上の確保を以って成立し開催されました。来賓に藤沢労働基準監督署より下川署長と伊地知安全衛生課長、協会本部より古屋専務理事を迎え、森支部長による開会挨拶を

いただいた後、第1号議案から第5号議案まで滞りなく決議承認されました。

その後「無災害事業場表彰」を行いました。これは令和2年～令和4年の3年間に無災害を達成した従業員数100人未満の会員事業場に贈るもの

で、本年度は4事業場が対象となり、森支部長より表彰状が授与されました。

続いて、藤沢支部の功労者2名は都合欠席につき、紹介のみとなりました。

来賓を代表して下川署長から祝辞と、最近の労働行政の課題についてお話をいただきました。まず、重点施策の3点について触れ、多様な選択を力強く支える環境整備を中心に進め、長時間労働の不正対策、あるいは労働条件の改善対策などの業務を進めていくようお話しされました。次に第14次労働災害防止計画の死亡災害の増加傾向に歯止めをかける目標について触れ、自発的安全衛生対策に取り組むための意識啓発など全8項目対し各事業所に協力を要請されました。最後に本協会藤沢支部、ならびに本日参加の皆様のご健勝を祈念したいと述べられ、本総会は締めくくりました。

〈広報部会：日産工機株式会社 佐藤祐二〉



2022年度 支部功労者表彰

藤沢支部では、支部の活動に大きな貢献のあった方に、毎年功労者表彰を行っております。

(表彰された方、敬称略)

いすゞ自動車(株)藤沢工場
日産工機株式会社

通山 哲(欠席)
小林 克己(欠席)

〔令和5年度(公社)神奈川県労務安全衛生協会藤沢支部スローガン〕

安全は一人ひとりの意識から
世代をつなぐ安全対話 みんなで築く快適職場

着任のご挨拶

藤沢労働基準監督署
安全衛生課長 伊地知秀一



4月1日付で藤沢労働基準監督署安全衛生課長として着任いたしました伊地知(いじち)と申します。

昨年までは、横浜西労働基準監督署に勤務しておりました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本年は第14次労働災害防止推進計画の初年度となります。第14次労働災害防止推進計画においては、新たな考え方として「アウトプット指

標「アウトカム指標」という要素が盛り込まれております。従来の基準年と比較した労働災害発生件数の減少目標値を「アウトカム指標」とし、その目標達成に向けた取り組みを「アウトプット指標」とする等、各事業場における労働災害の減少に向けた取り組みを評価するものとなっております。

労働基準監督署としましても、各種取り組みを行っていただく事業場の割合を増やすべく、取り組みの重要性の周知や、働きかけをさせていただくことと同時に、革新的な取り組みに対しては好事例として活動内容の水平展開をさせていくこととしており、「アウトプット指標」を積み上げていった先の「アウトカム指標」(目標)達成を目指して活動してまいりますので、会員事業場の皆様におかれましてもご協力をお願いします。

着任のご挨拶

藤沢労働基準監督署
労災課長 中越盛司



4月1日付けで藤沢労働基準監督署労災課長として着任しました中越と申します。昨年までは横須賀労働基準監督署で労災業務に従事しておりました。藤沢労働基準監督署の勤務は初めてとなります

が、私事ですが20数年前に週1回バドミントンの練習で藤沢を訪れておりました。当時と比べ駅周辺の景観はだいぶ変わっていて年月を感じます。さて、藤沢労働基準監督署の適用事業場数は県下

3番目に多く、労災請求も多い署となっております。複雑困難な労災請求事案も増加しておりますが、懇切丁寧な対応を心がけ、迅速適正な処理に努めて参りたいと思っております。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。



着任のご挨拶

藤沢労働基準監督署
第二方面主任 古谷寛之



4月1日付けで藤沢労働基準監督署の第二方面に着任いたしました古谷と申します。

昨年までは、横浜西署労働基準監督署に配属されており、藤沢労働基準監督署への配属は初めとなります。

藤沢労働基準監督署の管内には、海や神社などの人気がある観光スポットが多くあると聞いています。

今年は、新型コロナウイルスが収束に向かい、観光地が賑わいを取り戻すなど、経済活動の活性化が期待できる年になるかと思えます。

私としましては微力中ながらも、皆様が職場で安全かつ健康に働けるよう誠心誠意、日々の業務に努めて参りますので、一年間、どうぞよろしくお願いいたします。



着任のご挨拶

藤沢労働基準監督署
署長 下川眞徳



本年4月1日付で、藤沢労働基準監督署長に着任しました下川と申します。日頃より、労働基準行政に対し多大な御理解・御協力を頂き感謝申し上げます。

令和5年度の神奈川労働局の重点施策は、「安心して挑戦できる労働市場の創造」、「多様な人材の活躍促進」、「多様な選択を力強く

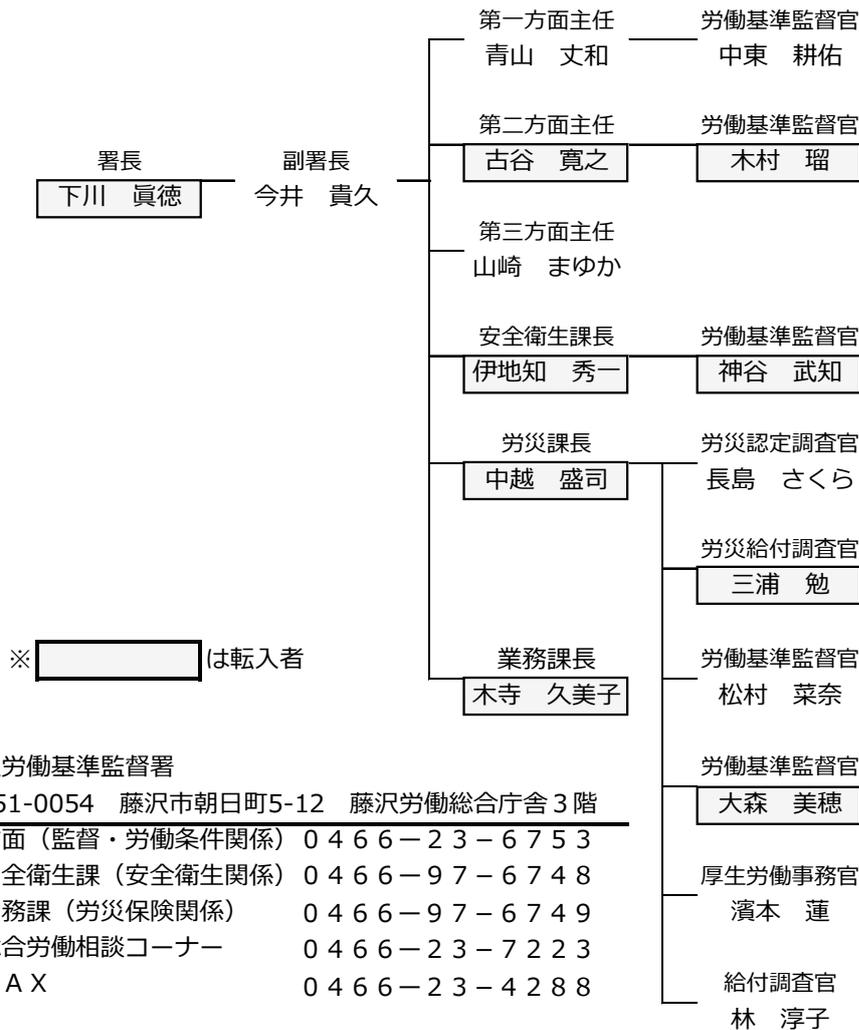
支える環境整備」の三点となっています。私ども労働基準監督署は主に三点目の「多様な選択を力強く支える環境整備」を中心に、安全で健康に働くことができる環境づくりを推進するために、長時間労働の抑制、労働条件の確保・改善対策、今年度から始まる第14次労働災害防止計画等の施策を推進してまいります。

これらの課題に的確に対応していくためには、貴支部をはじめとする関係団体の皆様との密接な連携のもとに進めていくことが重要であると考えます。藤沢労働基準監督署では、神奈川労務安全衛生協会藤沢支部の皆様のご協力をいただきながらこれらの施策を推進してまいりますので、引き続きよろしく願いいたします。

藤沢労働基準監督署からのお知らせ

【藤沢労働基準監督署組織図】

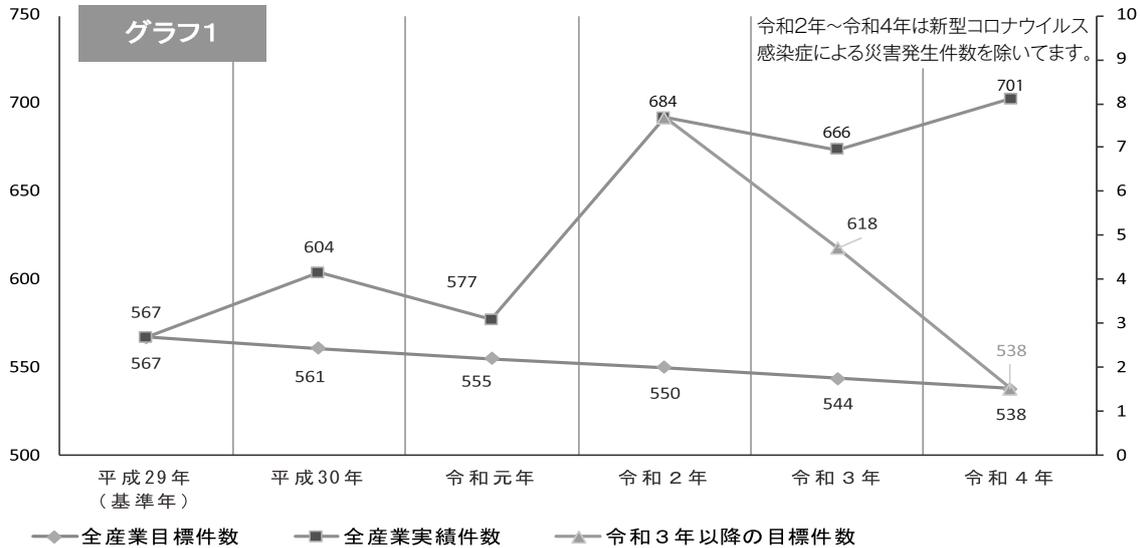
令和5年4月1日付で当署の組織が下記のとおりになりました。



連絡先 藤沢労働基準監督署
〒251-0054 藤沢市朝日町5-12 藤沢労働総合庁舎3階

◇方面（監督・労働条件関係） 0466-23-6753
 ◇安全衛生課（安全衛生関係） 0466-97-6748
 ◇労務課（労災保険関係） 0466-97-6749
 ◇総合労働相談コーナー 0466-23-7223
 F A X 0466-23-4288

第13次労働災害防止推進計画の結果について (全産業)



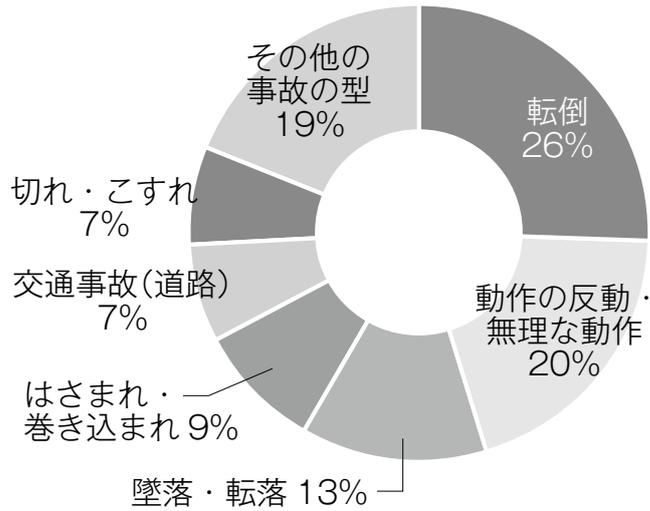
グラフ1 災害発生件数

第13次労働災害防止推進計画は、令和4年までに平成29年の休業4日以上の死傷災害を5%減少させることを目標に災害防止の各種取組をお願いしていましたが、労働環境を取り巻く情勢の大きな変化が進むなか、第13次労働災害防止推進計画の最終年である令和4年の目標値538件に対し、実績値701件と大幅に目標値を超える結果となりました。藤沢労働基準監督署管轄内における労働災害が700件を超えるのは、平成8年の708件以来で、20年以上前の水準の災害発生件数となり、大変憂慮すべき事態となっています。

(注：グラフ1の災害発生件数の令和2年から令和4年は、新型コロナウイルス感染症による報告を除いた件数としています。)

令和4年を基準年とし、令和5年からスタートする第14次労働災害防止推進計画においては、第13次労働災害防止計画において目標達成の妨げとなった「行動災害」の増加に対して、事業者や労働者における意識高揚を図るべく、自発的取組を促す施策が盛り込まれています。

業種別	第12次防期間中の死傷災害	平成29年死傷者数(基準年)	減少目標	第13次労働災害防止推進計画										
				平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		
				目標値	確定値	目標値	確定値	目標値	確定値(除コロナ)	見直し目標値減少率	確定値(除コロナ)	見直し目標値減少率	暫定値(除コロナ)	
全産業(対前年増減割合)	2,831	567	5%減少	561	604	555	577	550	684	618	666	538	701	
				-1.0%	6.5%	-1.0%	-4.5%	-1.0%	14.5%	-12.9%	-2.6%	-12.9%	5.3%	
製造業	死亡災害	4	0	15%減少	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	死傷災害	469	93	10%減少	91	105	89	90	87	86	84	96	83	97
建設業	死亡災害	3	0	15%減少	0	1	0	1	0	2	0	1	0	1
	死傷災害	357	60	10%減少	59	65	58	60	56	86	68	64	54	64
陸上貨物運送事業	255	63	5%減少	62	60	62	64	61	65	62	81	59	66	
第三次産業	小売業	467	95	5%減少	94	103	93	81	92	122	105	119	90	114
	社会福祉	276	52	5%減少	51	63	51	60	50	83	73	69	49	94
	飲食店	177	41	5%減少	41	32	40	29	40	39	39	23	38	46

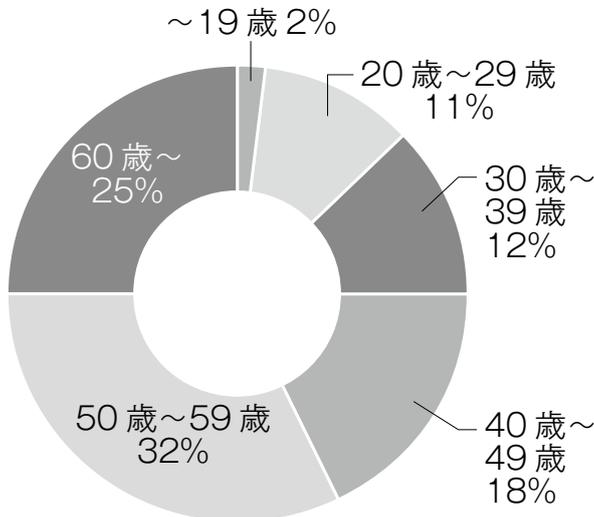


グラフ2 事故の型分類

その他の事故の型内訳

○飛来・落下	34件
○激突され	27件
○激突	26件
○高温・低温の物との接触	17件
○崩壊・倒壊	14件
○有害物との接触	3件
○破裂	3件
○爆発	1件
○感電	1件
その他	5件

グラフ2の令和4年における事故の型別発生状況では、転倒は183件（26%）と最も多く、次いで、動作の反動・無理な動作139件（20%）、墜落・転落94件（13%）の順となっています。行動災害（労働者の作業行動を起因とする労働災害）とされるこの3つの事故の型の災害で、416件・59%となり、半数以上を占めています。特に転倒災害は前年比42%の増加であり増加率が顕著です。転倒災害については、厚生労働省特設サイト「STOP! 転倒災害プロジェクト」を参考とした職場における転倒災害リスクの排除に向けた取り組みや、転倒災害にかかる労働者への教育や啓発等・意識高揚に向けたより一層の取り組みをお願いします。※「STOP! 転倒災害プロジェクト」については、厚生労働省特設サイトを参照してください。（右QRコード）



グラフ3 年齢階層別分類



グラフ3の令和4年における年齢別の死傷災害発生状況では、50歳代が226件（前年比30件増）と最も多く、次いで、60歳以上が177件（前年比18件増）、40歳代が126件（前年比5件増）の順となっています。40歳以上の被災者数は529件で、75%と災害件数の4分の3を占める状況となっており、50歳代で、対前年比20.2%増と増加率が顕著になっています。高齢労働者が職場で活躍される状況も増えつつあることから、「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン（エイジフレンドリーガイドライン）」を参考に高齢労働者に配慮した職場環境、作業の改善を進めていただくことが重要となります。※エイジフレンドリーガイドライン「高齢労働者の安全衛生対策」について厚生労働省のホームページを参照してください。（右QRコード）



2022年藤沢支部無災害事業場紹介

【敬称略】

藤沢支部では、労働災害防止活動の一環として無災害事業場表彰制度を発足させております。

この制度は、従業員100人未満の会員事業場を対象に業種を問わず、3年以上無災害を継続された当該事業場からの申請により表彰するものです。2022年は、4事業場が5月9日の通常支部総会にて表彰されました。

受賞された事業場の皆様におかれましては、誠にありがとうございました。

無災害事業場	会社名	代表者氏名
株式会社タクマテクノス	藤沢事業所	山崎 達也
有限会社トライ	コーポレーション	清水 雪夫
株式会社ダイフク	オートモーティブ事業部	鈴木 宏尚
いすゞ保険サービス株式会社	営業第二部	鈴木 豪



無災害事業場表彰 代表受賞者の皆様

株式会社タクマテクノス 藤沢事業所

株式会社タクマテクノスは、主に地方自治体が管理するごみ処理プラントや発電プラントの運転・維持管理を行っている会社です。大小様々な機器で構成されているプラントの点検・修理・トラブル対応などには重大災害に繋がる危険が常に潜んでいます。ヒヤリハットの活用、作業前KYの徹底、リスクアセスメントの実施などの安全活動の積重ねでそれらの危険を排除した結果が今回の無災害達成です。今後も無災害継続を目標にいたします。

有限会社トライコーポレーション

有限会社 トライコーポレーションでは、倉庫管理の請負とそれに伴った納品・梱包出荷を行っております。請負職場においては、入出荷のパレット物が多い為、車両、フォークリフトでの荷扱い作業は、2人作業（1人は確認、指示）指差し呼称の徹底「ヨシ!!」を遂行中です。朝礼での「報連相」「ご安全に」を合言葉に今後も無事故無災害の持続・継続を更新していく所存です。

株式会社ダイフク オートモーティブ事業部

株式会社ダイフク南関東サービスグループでは、自動車組付・搬送システムや塗装設備の搬送システムなど自動化、省人化の設計・製作・据付およびアフターサービスを行っております。大型連休で行われる工事では関係者一同で施工アイテムの現場確認を行い、安全対策や施工方法などを協議する活動を行っております。また『より安全な』作業を行えるように施工に携わる方にも周知させる活動を実施することにより無事故無災害の継続を目指しております。

いすゞ保険サービス株式会社 営業第二部

いすゞ保険サービス(株)は、いすゞ自動車(株)とそのグループ会社の法人及び従業員の損害保険並びに生命保険の募集を行っております。モノを作る製造現場はありませんが、工場で行っている5S活動を事務所に展開し「整理・整頓・清掃・清潔・躰」が正しく行われているかを確認し、不備事項があれば改善をします。こうした活動を通じて「安全性の向上」「作業効率の向上」「品質の向上」に努め無災害継続を目指して行きます。

〔当面の行事予定〕

- | | | |
|------|------------------------|-------------------|
| ○第1回 | 粉じん作業特別教育 | 6月13日(火) |
| ○第2回 | フルハーネス型墜落制止用器具特別教育 | 6月16日(金) |
| ○第1回 | リスクアセスメント研修会 | 6月20日(火) |
| ○ | 低圧電気取扱作業者特別教育(学科) | 6月26日(月) |
| ○第1回 | 衛生推進者養成講習 | 6月29日(木) |
| ○第1回 | 安全衛生推進者養成講習 | 6月29日(木)～6月30日(金) |
| ○第1回 | KYT研修会(危険予知訓練) | 7月4日(火) |
| ○第3回 | フルハーネス型墜落制止用器具特別教育 | 7月6日(木) |
| ○第3回 | 職長教育 | 7月10日(月)～7月11日(火) |
| ○第2回 | 粉じん作業特別教育 | 8月25日(金) |
| ○第1回 | 職長能力向上教育 | 8月30日(水) |
| ○第1回 | 有機溶剤業務従事者に対する特別な労働衛生教育 | 8月31日(木) |



労安協藤沢支部
講習会等開催予定

全国安全週間・労働衛生週間地区推進大会行事予定

- | | | | |
|-------|------------------|---------|------------|
| ○第96回 | 全国安全週間湘南地区推進大会 | 6月8日(木) | 藤沢市民会館小ホール |
| ○第74回 | 全国労働衛生週間湘南地区推進大会 | 9月7日(木) | 藤沢市民会館小ホール |

労働保険のお知らせ

令和5年度・労働保険(労災保険・雇用保険)の年度更新期間は、
6月1日(木)～7月10日(月)です。

労災保険と併せて石綿健康被害救済のための一般拠出金も申告・納付となります。

《年度更新申告書は、5月末頃に発送予定です》

正しい申告のために・・・早目にご準備を。

労働保険の申請は便利な電子申請で！



検索

労働保険の電子申請

お問い合わせは、神奈川労働局 総務部 労働保険徴収課 適用係 電話 045-650-2803

安・健・快 雑感

茅ヶ崎に住み始めて、5年目になります。特にお話するような事柄もないのですが、通勤時間が短くなり、ワークライフバランスが整い易くなりました、現在の住環境について記します。

引っ越しは、社会人になるまで小中学転校を含む5回、社会人2回の計7回経験しましたが、学生時代の実家暮らしから社員寮生活と、40代半ばまで恥ずかしながら、純粋な一人暮らしを経験したことはありませんでした。

湘南工場への異動内示を受け、東北に住んでいた身内から「茅ヶ崎、いい響きですね～」等とおだてられながら、はじめて不動産屋を訪ね私の希望物件を含む3件の中から、希望よりも魅力的に思えた3件目のアパートに決めました。不動産

業界に詳しい同僚から、3件目は不動産屋の戦略通りと揶揄されながらも、希望通りの間取りに満足しています。

アパートの目の前には、住宅地に囲まれた小さな畑が6面広がり、レンタル畑なのでしょう、ほぼ毎日車や原付で複数の主が現れ、様々な作業を通して、四季折々の移ろいを魅せてくれます。

小学校高学年まで過ごした多摩地域が、私の原風景なのですが、畑や雑木林が残っており木いちごや桑の実を食べ、冬には霜柱を踏みながら登校した懐かしい思い出に、このアパートを選んだ潜在的理由があったのかもと、後から思った次第です。

以上、身内の茅ヶ崎イメージとはかけ離れているとは思いますが、車通勤10分の快適生活をメタボに悩みながらも、満喫しています。

東海カーボン(株)湘南工場
澤口 崇

〔編集後記〕

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが8日に季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行しました。これにより、自粛等の法律に基づいた要請はなくなり、マスク等の感染対策も個人の判断に委ねられることになりました。

2019年に初めて報告されてから3年半ほど経ちましたが、その間に皆さんの生活の中でも影響を受けて変化していった事が多いのではないのでしょうか。我が家でも丁度この3年間長男が高校生で、学校行事のほとんどが縮小若しくは中止になり、その後の進学先でも授業の大半がリモートだった為、1年間休学して自分のやりたい事にチャレンジしたりと。

業務を行う上でも、以前の様に顔を突き合わせて議論を行う事は無くなり、「ZOOM」等のリモート会議が中心となりました。(時にはその方が色んな意味で都合が良い事も・・・)

これからは、感染対策等も行わなくても良い訳でなく以前の様な生活に戻りつつも自分自身は自分で守れるようにしていかなければならず、そこに私自身も対応出来るようにしていこうと思います。

新明和工業(株) 高松信英

